



中学生ヘルメット購入 補助復活を



問

今年度から中学進学時のヘルメット補助1000円をなくした。総額も60万円程度だ。安全な登下校の補助金として復活を求める。

答

学用品購入助成制度全体でパランスを取り、就学援助認定者を対象とした。

問

国民健康保険の「均等割」は、他の保険にはない課税だ。税負担も大きい中で、子どもたちへの均等割をカバーする自治体が増えていく。国保加入世帯で18歳以下の子どもは何人か。制度矛盾に真剣に向き合い、燕市としての支援策を求めたいかがが。

答

1月末で18歳以下は1024人いる。支援の財源をどこに求めるかだが、やはり国民健康保険の被保険者間で負担していただくことが基本であり、安易に市が負担すべきではないと考える。

問

「嘱託、臨時、非常勤」などの非正規職員は4月から全員がパートの「会計年度任用職員」となる。保育士職において燕市は経験年数を加味した時給をなくし、一律のものとする。隣の新潟市は逆にフル



長井由喜雄 (日本共産党)

答

20市中、経験を加味する自治体は9市、燕市より時給が高いのは8市で、近隣では2市ある。

タイムを基本として経験年数で5段階の時給とすると聞く。保育士確保がさらに難しくなるのではないかと、経験を加味する自治体、時給が高い自治体はいくつか。



全員への補助をなくした通学用ヘルメット

一部事務組合(※)を紹介します

燕・弥彦総合事務組合

昨年4月に消防・衛生・斎場事業に水道事業が新たに加わり、市民へ安全安心な水道水を配水しています。さらに、現在の4か所の浄水場を統合し、令和7年度の供用開始を目指し、新たな浄水場の建設を行っています。

- 構成市村：燕市・弥彦村
- 議員構成：燕10人・弥彦2人
- 予算額：71億5,257万円
- 施設の概要

- ・消防署 4か所 (吉田、燕、分水、弥彦、三王洲出張所)
- ・ごみ処理場 1か所
※1日最大237トンのごみ処理可能
- ・最終処分場 1か所
- ・斎場 1か所 ※6基の火葬炉あり
- ・浄水場 4か所



防災意識を高める一助を担う消防本部



環境に配慮し安全、安定したごみ処理を実施



煙を出さず、時間短縮も図られている新斎場

(※)一部事務組合とは…

普通地方公共団体が、事務の一部を共同で処理するために設ける地方公共団体の組合。

